



(1) 日本大学教育憲章

総合大学として育む人間像を明らかにする憲章。「日本大学マインド」を有する者の育成を謳っており、そのマインドとは「日本の特質を理解し伝える力」「多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力」「社会に貢献する姿勢」から成る。醸成するには「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」という3つの要素と、8つの能力の修得が必要とされ、日本大学の各学部・学科のカリキュラムでは、専門教育及び教養教育を通じて、この8つの能力を獲得できる教育を実現している（右図参照）。

(2) 「自主創造の基礎」

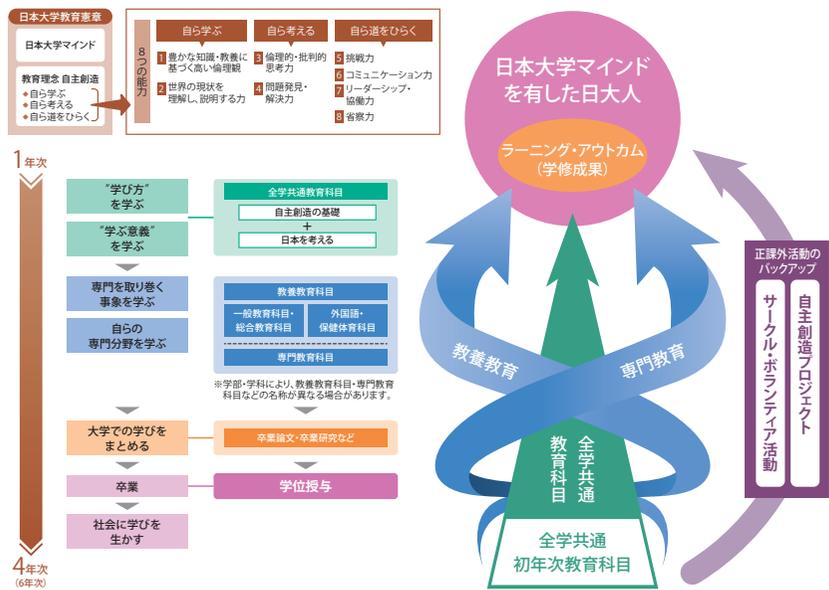
さまざまな動機・目的をもって入学する新入生に対し、日本大学の学生として身につけるべき学修姿勢や修得すべきスタディスキルを涵養する科目。ターゲットは「日大生としてのアイデンティティ」「論理的・批判的思考とアウトプット」「コミュニケーションとインクルージョン」の3つ。約16,000人が学部横断でグループワークを行う「日本大学ワールド・カフェ」は圧巻で、6人のグループごとに「日本大学」をテーマにディスカッションを行う。



(3) 相互履修制度

受講可能な科目数は例年2,500科目を超え、多くの学生が自分の興味や関心に応じて幅広い教養や総合力を養う機会として活用している。同制度で受講する学部別に、別途授業料を納める必要はない。

「自主創造」を実現する8つの能力を育成するカリキュラム



このほか、正課外活動のうち、特に学生が主体的に行う活動として注目されるのが「自主創造プロジェクト」です。これは、研究やボランティア活動など、学生発案で行う取

り組みに対し、大学が補助金を支給することで支援するものです。授業外でも学部間交流・連携を支援することで学生自らの学びの意義について理解を深めています。こうした教育プログラムと正課外活動を通していかに成長できたかは能力や行動特性などを客観的に測定するアセスメント・テストにより可視化されます。在学中に自らの強みや弱みを把握し、自分の特徴を理解することで、目標に向けて計画的に学修を進めることができるのです。

日本大学は34の研究所と4つの研究センターにさまざまな研究設備を有し、異分野を融合した多彩な研究を展開しています。例えば、「日本大学災害研究ソサイエティ (NUDS)」では、予期せぬ自然災害のリスクに対し、社会に役立つ災害避難システムの開発に取り組んでいます。また、宇宙開発とアートを融合させた「NICO COSMIC CAMPUS」も、理工学部と芸術学部を擁する日本大学ならではの壮大なプロジェクトです。こうした研究成果を社会に還元する中心が「日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)」です。知的財産権の活用収入は累積で13億円を超えるなど、産業界などと連携し、新技術・新製品の開発などに貢献しています。



さかい たかし 酒井健夫 学長
日本大学農獣医学部（現・生物資源科学部）卒業。東京大学医学研究所、厚生省（現・厚生労働省）などを経て、1993年日本大学農獣医学部教授。2008～11年、日本大学総長。学外での要職も多数歴任し、2022年より現職。

1889（明治22）年創立の日本法律学校を前身とする日本大学は、16学部86学科、大学院および短期大学部、通信教育部を擁し、人文・社会科学分野から自然科学、医歯薬、芸術系まであらゆる学問分野を網羅する、わが国最大規模の私立総合大学です。

既存の枠にとらわれない発想で物事を俯瞰的に捉え、行動できる「総合知」が求められる現代社会において、幅広い学問領域を有する日本大学では、多分野が融合する唯一無二の教育研究環境を構築し、総合知を築く豊かな土壌の中でこれからの時代にマッチする人材を育成しています。

「自主創造」の教育理念の下、学部の枠組みにとらわれない幅広い教養と専門知識、視野が身につく教育環境を整備し、自主創造の精神と教学優先を核とする「日本大学ルネサンス計画」を掲げ、教学改革に取り組んでいます。

日本大学

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 学務部入学課 TEL 03-5275-8001 <https://www.nihon-u.ac.jp/>

スケールメリットを生かした教学DX 個々の能力や特性に合わせた教育を提供する「オーダーメイド型サポート」を推進。

個々に寄り添うサポート制度と圧倒的なスケールメリット
日本大学の教育理念「自主創造」に基づく教育をより確かなものとするため、昨年7月に学長に就任した酒井健夫学長は「日本大学ルネサンス計画」を提唱。「個」（学生や教職員、各学部）を重んじつつ、「全」（集合体である大学）の一体感を生み出す教育に全力を挙げて取り組んでいます。そのためのカギとなるのが教学DX（デジタルトランスフォーメーション）です。日本大学は幅広い学問領域を網羅し、6万人を超える学生が在籍していますが、「個」については一人ひとりの学生に合わせた指導をさらに充実させ、ICTを活用しながら学修成果の可視化を進めています。目指すのは、多角的な「オーダーメイド型サポート」です。学生と教職員が自主創造を実行できるゆとりを創出し、教育の質を向上させるとともに、各学部の自主性を尊重しながら学部間の競争と協調の中でポトムアップによる全体の底上げを図ります。「全」に関しては、日本大学全体

としての一体感や、総合大学のスケールメリットの形成を指します。教育DXを推進して分散型キャンパスのデメリットを解消しながら、他大学にはない唯一無二の教育・研究の基盤を構築します。例えば初年次に開講される「自主創造の基礎」では、約1万6000人の学生が学部を横断してグループワークを行いますが、これほどの規模感のある授業は日本大学ならではの強みです。「現代の社会では、既存の枠にとられない発想で物事を俯瞰的に捉え、行動できる『総合知』が求められています。気候変動や紛争、格差、食料やエネルギーの確保、感染症の流行といった地球規模の問題に立ち向かい、社会の持続的発展を維持するには、分野を超えた協力が欠かせないからです。幅広い学問領域を有する本学には総合知を築く豊かな土壌があり、他分野が融合する唯一無二の教育研究環境を構築できることを考えます」と酒井学長は述べます。

育む人間像を明らかにする日本大学教育憲章⁽¹⁾
日本最大級を誇る日本大学のスケール感は、さまざまな数字の中に表れています。日本大学は16学部86学科を擁し、人文科学、社会科学、自然科学を網羅する非常に幅広い学びを提供しており、専任教員も2200人以上います。各分野の学問を深めた教員による多彩な研究が展開され、発表される論文数は私立



江古田キャンパス（芸術学部ギャラリー棟）